

町民の声

「大輪に託す奉納花火 祝・町制100周年」



金山町花火大会実行委員会

会長 細谷 俊一 さん（稲沢 63歳）

町制施行100周年、誠におめでとうございます。金山町の花火大会は令和6年で64回目の開催となります。皆様の御支援・御協力のおかげであり、深く感謝申し上げます。

大輪に託す奉納花火、込める思いは一瞬の美しさに凝縮され、観た人に感動を与えます。町民の日々の仕事や暮らし、思いなど歴史の積み重ねがあってこそその100年、皆で祝い未来につなげたいと願います。町制100周年の今花火大会、お祝いに花を添える思い出深い記念花火を打ち上げます。期待してください。

○昭和35年、第1回花火大会

金山の花火大会について歴史や取り組みなどを紹介します。第1回は商工会青年部が実行委員会を組織し、昭和35年お盆行事としてスタート。花火師は秋田秋南火工です。私は昭和63年頃、金山農協の上司に勧められ実行委員会に初参加、メンバーは商工会会員、役場職員、農協職員など、約20人でした。

当時の打ち上げ現場は金山川の河川敷。まずは

現場の草刈作業から始まり、花火の機材は現場まで担ぎました。打ち上げは秋田平鹿町からの花火師約10人。打ち上げ場所に民家はまだなく、尺玉サイズの花火も上がりました。

○共に感動を！会員募集中

私は平成7年に花火師（煙火打上従事者）の資格を取得し、今年で29年になります。花火大会はじめ消防演習や運動会、各地のお祭りで打ち上げています。

現在は住宅との保安距離の関係で大きな花火はできませんが、秋田秋南火工の努力により綺麗な花火が上がります。お客さんの歓声が現場まで聞こえ、やりがいを感じます。花火の打ち上げは遠隔点火なので安全性が格段に上がっています。

○「感動を分かち合いませんか！」

実行委員会では会員募集中です。興味のある方はぜひお声がけください。

町民はじめ関係者の皆様、今後とも御支援、御協力よろしくお祈いします。

本号の表紙

来年1月1日に迎える「町制施行100周年」に向け、様々な催しが予定されている。

記念イベントのスタートとして5月3日の「街市」に併せ、今年の町の運勢を占う「大綱引き大会」が行われたほか、6月9日には「ウォーキングイベント」、「町制施行100周年記念壁画」の制作も始まった。

10月5日の記念式典など多くの記念イベントが開催され、町全体が祝いのムードに包まれていく。



9月議会定例会は9月5日(木)～12日(木)の予定です 町民の皆様の傍聴をお待ちしています

日程は近くなりましたら町ホームページ内の議会ページでお知らせします。

ギョウワラム No.5

ゴアウー、カキーン 初夏の青空に重機の作業音が響き渡っている。

中断していた高規格道路の工事が、開通を目指して再開された。町を横断して、多くの車が往来するだろう。やっとな実現できた希望の道だ。

私たちが「道の駅金山」の道路標識を掲げるならば、金山町を知らなかった全国の人たちに町に足を入れる機会を提供することとなる。

休憩や食事をする方、街なか散策を楽しむ家族など、想像を超えた賑わいとなる。通りすがりの町にとっては困るのである。

(文責・須藤 典夫)

発行責任者

■ 議会議長

栗田 保則

議会広報常任委員会

■ 委員長
■ 副委員長
■ 委員

星川 智子
中村 忠行
大場 洋介
五十嵐 優一
宮林 聡志